

2011年4月8日

西 秋 良 宏 様

一般
社団法人 日本考古学協会
第77回総会実行委員会

一般
社団法人 日本考古学協会第77回総会研究発表(セッション)について

標記につきまして、下記のとおりお知らせします。

当日の時間割を同封いたしましたので、企画者の責任のもと、セッション参加者の方々に該当する会場（教室番号）・発表時間帯・前後の発表順序をお知らせ願います。発表時間は25分です。

また、デジタルデータを用いたプレゼンテーション(以下デジタルプレゼン)に当たっては、別記の要項にそって必ず事前に全員分のデータを、実行委員会宛に送付していただくようお願いいたします。

記

- * 会 場：第6会場：國學院大學120周年記念2号館3階 2301教室
- * 時 間 割：セッション5 (14:00～16:45)
「旧人・新人の石器製作学習行動を探る」
- * 発表時間：1人25分
- * 使用機器：液晶プロジェクター

<企画者の受付について>

研究発表当日の5月29日(日)、発表者受付にて発表時間の1時間前までに、必ず受付を済ませてください。企画者以外のセッション参加者については、受付の必要はございませんので企画者の責任においてご確認をお願いいたします。

発表者受付：國學院大學120周年記念2号館1階エントランスホール

◆第6場：國學院大學120周年記念2号館3階 2301教室

セッション4「沖縄県石垣市白保竿根田原洞穴から出土した後期更新世人骨

：考古学と骨考古学の協働」

1. 10時00分～10時25分
奈良貴史・日本人類学会骨考古学分科会「趣旨説明」
2. 10時25分～10時50分
片桐千亜紀・山崎真治・藤田祐樹・米田 穰・小林紘一「沖縄県白保竿根田原洞穴遺跡の発掘調査概要－更新世末から完新世初頭における洞穴利用形態の復元に向けて－」
3. 10時50分～11時15分
山崎真治・片桐千亜紀・大堀皓平・横尾昌樹・仲里 健「更新世末から完新世初頭の沖縄における人類文化を探る－6,000BP以前の沖縄に人類文化は存在したか？－」
4. 11時15分～11時40分
藤田祐樹・菅原広史・波木基真「白保竿根田原洞穴遺跡出土の大型・中型動物遺存体について」
5. 11時40分～12時05分
土肥直美・片桐千亜紀・徳嶺里江・藤田祐樹「人骨からみた白保竿根田原洞穴人の生活誌－系統論ではなく生活痕跡を中心に－」
6. 12時05分～12時30分
米田 穰・覚張隆史・内藤裕一・瀧上 舞・土肥直美・片桐千亜紀「人骨の化学分析からみた白保竿根田原洞穴人の食生態」

セッション5「旧人・新人の石器製作学習行動を探る」

1. 14時00分～14時15分
西秋良宏「趣旨説明－旧人・新人交替劇と学習」
2. 14時15分～14時40分
門脇誠二・近藤康久「石器製作伝統の消長パターンからさぐる旧石器人の学習行動」
3. 14時40分～15時05分
加藤博文・長沼正樹「高緯度寒冷地域への植民行動－その進化的・学習的意義－」
4. 15時05分～15時30分
佐野勝宏・小野 昭「ヨーロッパにおける旧人石器群と新人石器群の消長と拡散」
5. 15時30分～15時55分
高橋章司「翠鳥園遺跡にみる瀬戸内手法の技術伝承と習熟過程」
6. 15時55分～16時20分
阿部朝衛「荒川台遺跡にみる細石刃剥離技術習熟過程」
7. 16時20分～16時45分
長井謙治「石鏃製作実験から見た学習」